福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆　希望 創造 潤い

昭島市立福島中学校
令和5年10月2日 NO.6
042－541－2940
創立44年目（昭和55年開校）

AIの社会で可能性を広げるには

校長　前川　法彦

「やりがい」と「働きがい」。この二つの言葉は聞いたことがある人も多いと思います。似たような言葉ですが、大きな違いがあります。「やりがい」とは、困難を乗り越えて結果を出して、感謝されてはじめて「やったかいがあった」と思えるものです。もうひとつの「働きがい」は、数年働いてからでないと実感が湧いてこないものだと考えられています。「やる」と「働く」とでは、言葉の範囲が違うのです。

世界では、ＡＩの進化で働きがいを感じることができなくなる時代がくる可能性があります。昔は、人に任せられていた仕事が、高性能なシステムやロボットなどによって、仕事の経験のない人から経験のある人まで、仕事が奪われ始めています。仕事をしようとしても価値観の多様化で、何が正解か分からない時代になり、ベテランでも手探り状態・試行錯誤の連続で、働きはじめたばかりの人に「何をやったらいいですか」と聞かれてもマニュアルがないのです。いま社会では、「働いても、まるで働きがいを感じられない」となる人が増えています。そのときになって、こんなはずではなかったとなる前に、これからの生活にもつながるところがあるので、次のことを意識してみるといいでしょう。

1　やるべきこと（マスト）をやり続けることで
2　やれること（キャン）が増えて、
3　やりたいこと（ウィル）が見つかる可能性がある

ということです。ストレスがかかっても、あきらめずやることで、やれることが増えてきて、結果が残り、多くの人から感謝され、達成感を感じることができるはずです。やりたくないこと、苦手なこともあるかもしれないけれども、それは誰でも一緒なのです。

大切なのは、１「マスト（Must）」２「キャン（Can）」３「ウィル（Will）」の順番です。これから成長していく皆さんに、いい未来を送ってほしいと思います。

あと１か月で合唱祭になります。ひとりだけでは決してできない行事です。大切にしてほしいことは、仲間とひとつのものをつくりあげたという自信と、「心を込めてがんばれた」というプライドをもってほしいことです。当日、成長した福中生の姿を見られることを楽しみにしています。